

# 東海

情報提供は支所またはJA中央会へ

## 中部支所

〒460-0003  
名古屋市中区錦3-3-8 JAあいちビル西館3階

☎052(971)2020  
FAX 052(971)2024  
Eメール chubu-h@agrines.co.jp

## 東海地域の中央会

岐阜中央会 ☎058(276)5631  
静岡中央会 ☎054(284)9544  
愛知中央会 ☎052(951)6944  
三重中央会 ☎059(229)9006

## ニューサマーPR 静岡・JAふじ伊豆部会 試食会



ニューサマーオレンジのおいしい食べ方を教わる来店客

【静岡・ふじ伊豆】JAふじトじたニューサマーオレンジの伊豆伊豆太陽地区ニューサマー試食を勧めた。連休中であつて、大勢の来店客でにぎわつた。15月上旬、沼津市の商業施設、らぽーと沼津で、ニューサマーオレンジの試食会を開き、東伊豆町と河津町特産の味が良く、甘さと酸味のバランスが絶妙に仕上がっている。試食した来店客は「甘くてみずみずしくて、おいしい」と話した。購入者には、皮のむき方と食べ方を説明したパンフレットを手渡した。

## 「三重オクラ」出荷 秀品多く期待できそう

JA伊勢

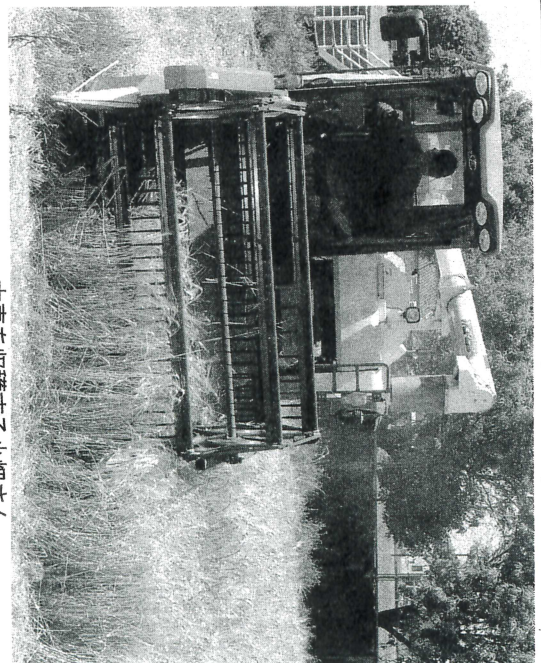
【三重・伊勢】JA伊勢管内の豊羽志摩地域で24日、県内のトップ志摩市の川口利雄さん(80)は、花きのスプラウトの後作としてオクラを栽培する。ストックの出荷が終わった3月下旬に種をまき、6月中旬から7月上旬に収穫が始まる。オクラは軽量で年齢や性別を問わずに気軽に食べられることから、同じ伊勢管内の豊羽志摩地域で24日、県内のトップ志摩市の川口利雄さん(80)は、花きのスプラウトの後作としてオクラを栽培する。ストックの出荷が終わった3月下旬に種をまき、6月中旬から7月上旬に収穫が始まる。オクラは軽量で年齢や性別を問わずに気軽に食べられることから、同じ伊勢管内の豊羽志摩地域で24日、県内のトップ志摩市の川口利雄さん(80)は、花きのスプラウトの後作としてオクラを栽培する。ストックの出荷が終わった3月下旬に種をまき、6月中旬から7月上旬に収穫が始まる。

Aは2005年から栽培に最盛期を迎え、連日、朝と夕の2回、収穫作業を行う。川口さんは「生育初期は日照不足などの影響で軟弱だったが、花のそりが良く、秀品が多い。出荷は期待できそう」と話す。

同JA管内は県内有数のオクラの産地。24年度では生産者36人が約58万で栽培する。出荷は露地ものも含めて10月上旬まで続く。



出荷作業をする川口さん(24日、三重県志摩市で)



大麦を収穫する小畑さん



好天の中、収穫される大麦

市で地じりの製造・販売を手がける安城市「ル麦の会」と協力に収穫している。5月上旬には3年目の収穫を行った。同社の石川伸代表取締役が、オール安城市産のビールを作りたという夢を語り、賛同した生産者が協力を申し出たことがきっかけ。有志4人が「安城市ビール会」を結成した。この日に収穫したのは「ニューサマーブルー」で、昨年11月中旬に約3万に播種した。